

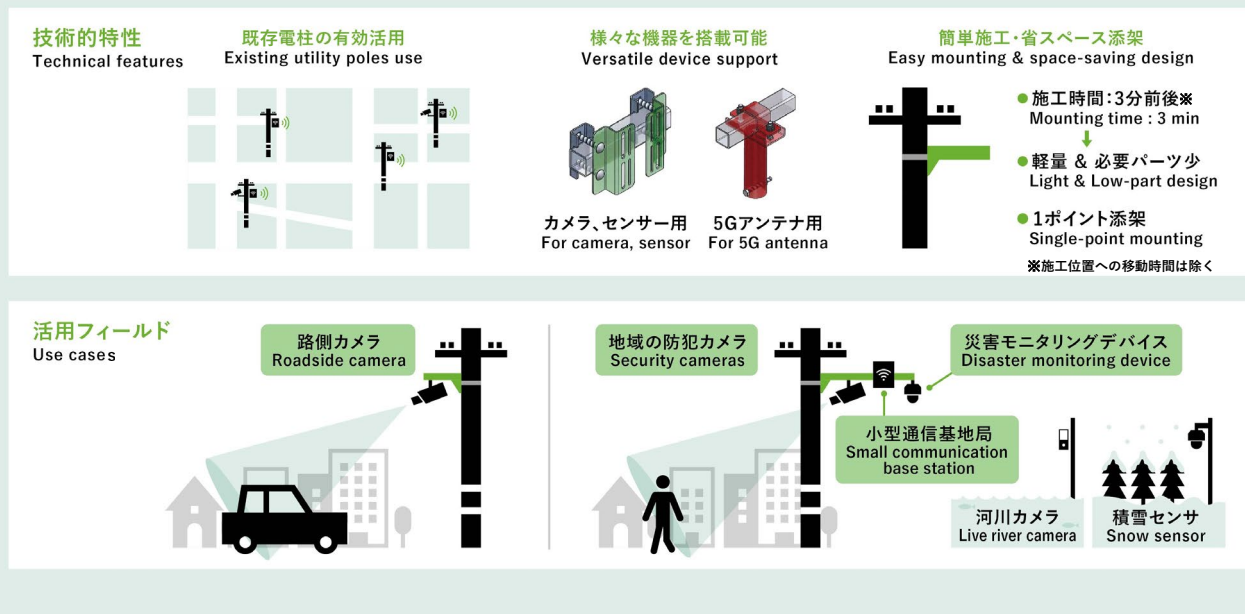
センシング用インフラ設備を簡易に構築 既存電柱のスマートポール化アタッチメント

背景 - 技術課題

インフラ協調による安全運転支援を実現するためには
スマートポールなどのセンシング用インフラ設備が多く必要となりますが、
設置コストやスペースに課題があり、整備が進まないという問題がありました。

既存電柱のスマートポール化アタッチメント

Smart-pole attachment for existing utility poles



研究目標 - 成果

電柱へのセンシングデバイス簡易取付を可能とするアタッチメントの開発により、
既存電柱を簡単かつ迅速にスマートポール化し、経済的なインフラ整備に貢献します。

技術ポイント

01 要素技術

- 電柱への機器取付にあたっては、1ポイントでの添架が可能
- 安全性・施工性を確保しながら、各種アンテナ・カメラ・センサの取り付けが可能

02 市中技術差異点

- 小スペースでの設置が可能 (市中物品では500mm程度の取り付けスペースが必要だが、本物品では200mm程度のスペースで取り付け可能)
- 添架ポイント付近が輻輳していても取り付け可能

利用シーン 交通・運輸

R&Dフェーズ ビジネス展開

【出展企業】
NTT東日本株式会社 / NTT西日本株式会社

【問い合わせ先】
先端テクノロジー部 アクセス開発担当

【共同出展社/社外連携先】
イワブチ株式会社

【関連Link】